

未病のための漢方薬と機能性食品

昭和薬科大学 薬用植物園
薬用植物資源研究室 佐竹元吉

未病のための動きは、日本では1970年代にはじまり、化学医薬品による健康障害から、江戸時代に繁用された伝統医療を漢方処方薬として政府が認めたことで、漢方薬が医療での役割をもつことになった。現在では、機能性食品を目指した健康増進プログラムへと進んでいる。

アメリカでは、1994年のダイエタリーサプリメント（"DSHEA" DIETARY SUPPLEMENT HEALTH AND EDUCATION ACT OF 1994）に関する法の制定により、国内の健康産業の市場は拡大し、世界中に普及した。植物性の製品はボタニクスとして、世界中の薬用植物が対象となった。

漢方薬を普及しようとしたが、原料の生薬が中国産のものが多く、品質規格ができていなかった。品質規格は第7改正日本薬局方に収載し、製剤化を可能にしたが、原料の植物が入手できず、1980～1990年には、原料植物の栽培研究と同時に実用栽培が行なわれた。2000年代には栽培指針ができ、薬用植物が普及した。しかし、中国からの輸入依存の傾向は変わらず、中国側からの価格上昇と品質低下の傾向が見られてきている。製薬企業は、中国の周辺国での栽培を奨励する傾向がでてきた。また、品質向上のために、薬用植物の新種苗が続々と登録されだててきている。その例が、ガンゾウやダイオウの成分含有量の高い種苗や活性成分の安定しているトリカブト類、製剤化し易いシャクヤクやハトムギ、収穫し易いジオウの品種、生産性が高いミシマサイコ等がある。

1971年、厚生省は医薬品の品質向上のため、医薬品と称する食品が出回ることを取り締まるために、食薬区分の通知を出してこれに対応した。この通知で、アメリカからのダイエタリーサプリメントの輸入が困難となると、規制緩和の一環として、健康食品分野の開放が要望され、2000年にこの通知が改正され、多くの品目が輸入可能になった。

社福協は、食薬区分の非医に区分されている原材料は機能性食品として期待されるとして、これらの植物性の素材を収載した基原植物事典を出版した。内容は、821の素材に関して、学名、形態、成分及び食経験を記載し、全てに写真を載せ、植物を印象付けられるようにしてある。高等植物だけでなく、海藻、キノコ類、酵母についても記載している。

健康食品の安全性評価に関するスキームを提案し、行政が期待している安全性の認定機構への技術的な支援ができるようなスキームである。

漢方薬の分野では、製剤できる漢方処方を210処方から294処方へ増加し、利用し易いように記載した。例えば、加味帰脾湯エキスは健忘症・神経細胞の賦活作用があるもので、効能・効果は体力中程度以下で、心身が疲れ、血色が悪く、ときに熱感を伴うものの諸症：貧血、不眠症、精神不安、神経症に用いる。処方構成は人参、白朮又は蒼朮、茯苓、酸棗仁、竜眼肉、黄耆、当帰、遠志、柴胡、山梔子、甘草、木香、大棗、生姜及び牡丹皮

である。この処方、帰脾湯の証に更に熱状血証の加わったものに应用されるので、柴胡と山梔子が加味されている。

この処方に配合されている生薬で、国内栽培が可能なものを挙げてみる。

人参は長野県で復興の動きがあり、福島県では水耕栽培も検討されている。白朮は大花オケラが栽培可能であるが、オケラ栽培が成功されていない。日本の野生植物なので検討が必要である。蒼朮のホソバオケラは栽培が江戸時代から行われているので、増産も可能である。茯苓、酸棗仁や竜眼肉は栽培困難である。黄耆のキバナオウギは栽培されている。当帰は国内生産が盛んである。遠志のイトヒメハギは近年栽培が行われるようになってきた。柴胡のミシマサイコは国内栽培が盛んである。山梔子はクチナシで結実しやすい諸病があれば生産は可能である。甘草のウラルカンゾウは北海道で実用栽培が試みられている。木香は北海道での栽培が検討され、成功している。大棗は果実の大きい種苗が確保できれば生産可能である。生姜は高知県で野菜として栽培されている。牡丹皮のボタンは奈良県で生産があったが、現在は生産されていないので、薬用の種苗の確保が必要である。

薬用植物の種苗は、種苗法で登録されている種苗には、ダイオウ、ジオウ、シャクヤク、トリカブト、ミシマサイコ、ハトムギ等がある。

2015年改正の日本薬局方には漢方処方が23種類記載されている。規格が困難であったブシが日本薬局方に収載され、ブシを含む漢方処方の八味地黄丸、真武湯や牛車腎気丸がこの例である。

漢方に関する医学や薬学では認定制度があり、医学では2000名以上、薬学では6000名以上が生まれている。漢方に関する勉強会も盛んで、日本漢方協会、恩知会等がある。薬用植物を使う分野では、メディカルハーブ協会の認定、生薬ソムリエ認定などもある。